

平和の誓い

愛する家族の幸せを心から願い、そして美しいこの国の山や河を貴い命を懸けて守っていただいた方々がこの地に多く眠っておられます。
また、74年前に終戦を迎えた太平洋戦争では、何千万人という多くの方々が亡くなりました。
残された家族は戦争の記憶にとっても苦しめられたと聞きます。

今、日本は、戦争をしていません。
しかし、ほんとうに平和で安心して暮らせる国と言えるでしょうか。
毎日のように心の痛む悲しい事件が起こっています。

どうして、人は争いをしてしまうのでしょうか。
わたしたちの中に持っている欲や自分さえ良ければいいという
自分本位なものの考え方にあるのかもしれませんが。

私たちの身近なところで傷つけられ、身体や心を痛めている人はいないでしょうか。
自分のことばかりを考え、身近な人の心を力で、行動や言葉で傷つけてはいませんか。
身近な人の平和を脅かしてはいませんか。

過去の争いや戦争の悲惨さを後世に伝え、過ちを繰り返さないのはもちろんですが
「身近な平和」の大切さについて改めて話し合い、
身近な平和の実現のために実践できることをみんなで考えました。
これから私たちが意識して生活していきたいことを5つ挙げます。

ひとつ、誰に対しても分け隔てなく、笑顔で接すること。
ふたつ、自分勝手な振る舞いを止め、相手を思いやり行動すること。
みつつ、外見やうわさ話にとらわれず、相手の心を見つめて接すること。
よつつ、感謝を忘れず、お互いに協力しあって解決すること。
そして最後に、
すべての人の幸せを願って46期生が一丸となり互いの心と心に虹をかけること。

私たちは、私そして私の周りの人々もかけがえのない存在であることを決して忘れません。
誰もが世界にただ一つしかない、大切な「命」です。
わたしの「命」もあなたの「命」も大切に、今を生きていきます。
私たち、大和川中学生は、身近な平和の環を無限に広げ、
命を大切にしていくことをここに誓います。

令和 元年 五月 二十三日

大阪市立大和川中学校 四十六期生一同